

法科大学院キャラバン列島縦断リレー

法科大学院がわかる会 名古屋会場

開催日

2014年12月13日(土)

開催時間

第1部 13時30分から14時45分(15分, 移動時間)

第2部 15時から16時

開催場所

名古屋大学・東山キャンパス

http://www.nagoya-u.ac.jp/upload_images/campusmap2014_jp_Outline.pdf

C4③の建物

(名古屋市地下鉄名城線・「名古屋大学」駅下車、①番出口)

第1部 名古屋大学法学部第三講義室

第2部 名古屋大学生協南部店 Mei-dining

主催 法科大学院協会 (<http://lskyokai.jp/index.html>)

共催 日本弁護士連合会

後援 最高裁判所、法務省、文部科学省、適性試験管理委員会

開催校 名古屋大学法科大学院

第1部 法科大学院の魅力とは

司会 藤本 亮 (名古屋大学大学院法学研究科教授)

1. 開催校挨拶(5分)

○小林 量 (名古屋大学法科大学院長・教授)

2. 法科大学院で学ぶ意義－検察官の仕事との関係で(10分)

法科大学院で実務家教員として教鞭をとる検察官が法科大学院での勉学の意義と、それが実際の検察官の仕事にどのように活かされるのかを語る。

○白井玲子 (名古屋高等検察庁・名古屋大学大学院法学研究科教授
中京大学大学院法務研究科教授)

3. 法科大学院で学ぶ意義－弁護士の仕事との関係で（10分）
法科大学院を修了した若手の弁護士が法科大学院での勉学の意義と、それが実際の弁護士の仕事にどのように活かされているのかを語る。
○辻 顕一郎（愛知県弁護士会）
4. 法科大学院修了弁護士からのメッセージ（15分×2）
法科大学院を修了した弁護士が法科大学院での勉強時代を振り返り、法科大学院で学ぶことの重要性、法科大学院での勉強生活などを語る。
○辻 顕一郎（名古屋大学法科大学院修了・愛知県弁護士会）
○上松健太郎（名古屋大学法科大学院修了・愛知県弁護士会）
5. 法科大学院教育について（実務家教員の対談）（20分）
名古屋大学法科大学院で実務家教員として教鞭をとる弁護士2名が法科大学院での教育の魅力について対談する
○成瀬伸子（愛知県弁護士会・名古屋大学法学研究科教授）
○川合伸子（愛知県弁護士会・名古屋大学法学研究科教授）
6. 閉会
第2部への移動の説明（司会）

第2部 法科大学院／法曹との個別相談会

名古屋地区の法科大学院が会場にそれぞれブースを設置し、各ブースにおいて教員と第1部登壇者等が参加者に対して法科大学院教育の内容やサポート体制等を説明するとともに、参加者との懇談、質疑応答を行う。（軽食、飲み物を用意しています）

- 参加法科大学院：愛知大学法科大学院、中京大学法科大学院、名古屋大学法科大学院、南山大学法科大学院、名城大学法科大学院